

## 自主防災組織活性化支援事業優良団体 活動事例概要

|      |   |       |                  |
|------|---|-------|------------------|
| 団体名  | 高浜地区自主防災連合会   | 設立年月日 | 平成 17 年 12 月 1 日 |
| 代表者名 | 陰原 政徳   | 構成人数  | 7,081 人          |
| 事業概要 | <p>高浜地区は、平成 30 年 7 月豪雨で大きな被害があり、その教訓をもとにこれまでの防災対策を見直してきた。その一つに「避難行動要支援者の災害時支援」があった。</p> <p>高浜地区自主防災連合会では、地区独自で調査を行い作成した要支援者名簿とマップが存在する。</p> <p>今回、そのマップをもとに連合会のメンバーをはじめ、民生委員、消防団員などで実際に要支援者宅を回り、安否確認に必要な時間を計測し、また抽出した要支援者（今回は民生委員）を避難所まで搬送する時間を計測確認した。その後、避難所となる小学校の体育館で段ボールベッドの組み立てなど避難所開設訓練も実施した。</p> <p>補助金は、避難者の搬送に必要なリヤカーの購入に活用した。</p> |       |                  |

## 事業実施中の写真



## 事業完了後の活動予定又は実績

現在、高浜地区は愛媛県の連携事業「避難行動要支援者の個別避難計画策定のモデル作成」に取り組んでいる。

その中で、今回の訓練で確認できた所要時間や避難支援の課題を検証し、より実効性のある計画策定に取り組む予定である。

また、今回の訓練では、新型コロナウイルス感染予防のため、実際に避難行動要支援者の方々を避難所まで搬送することができなかったが、今後は実際に支援が必要な方にも訓練に参加してもらい災害が起きた際に「本当に助け合える」組織作りを目指していく。

# えひめ自助・共助推進フェアシンポジウム

## 要支援者安否確認訓練

令和2年3月1日実施

この訓練は作成済みの要支援者マップを基に、各町内の要支援者宅を一斉に回って安否確認を行う時間の確認訓練です。防災関係者（町内会長、民生委員、防災士）がマップに表示された要支援者宅を確認する事と、避難所までの搬送時間（今回は抽出した3町）を確認し、今後の個別避難計画作成資料とします。

## 高浜地区自主防災連合会

### 訓練状況

- ① 要支援者安否確認
- ② 要支援者搬送



### 要支援者台帳とマップ

マップには要支援者名と場所が明示されており他の町役員でも要支援者宅がわかるようになっている

### ① 町内ごとの要支援者宅確認状況



### ② 要支援者搬送状況





